

今村 輝宏議員



Q 河川復旧・浚渫等 整備計画は

A 計画的な河川改修
工事に取り組んでいく

た河川は28箇所ある。

今後、計画的に工事の発注を行い、復旧を進めていく。

今年28年度の予算を繰り越し早期に土石の撤去等河川改修工事に取り組んでいく。

今村議員

昨年の6

今村議員 河川等は県の管轄区域もあるが、村として対応できる箇所は早期の河川復旧また浚渫等、今後の計画は。

村長

震災と豪雨により村内の河川では土石流などが発生し、住宅や農地に甚大な被害を起こしている。

国の災害査定を受け



山王谷川の土石流災害現場

害復旧事業で災害査定を受けているので今後復旧事業に取り組んでいく。

山王谷川の土石流発生箇所は、上流部は県による砂防ダム建設計画、下流部の河川氾濫箇所についても蛇行した箇所を真っ直ぐに改修するなどの計画が立てられている。地元説明会を開催する予定。

垂玉川は、非常に大規模な斜面崩壊が起こっており、河川内に大量の土石や流木が氾濫している。現在、県により公共土木の施設災害復旧事業で復旧を進めているが、河川に堆積した土石・流木は原則、村が撤去することになっている。

しかし、膨大な量のため今後、県と相談をしながら撤去の方策を早急に検討して対処したい。

また東急分譲地上流

濁川を挟んだ東急分譲地の斜面の崩壊対策は、県が急傾斜地の崩壊対策事業、村が地域防災がけ崩れ対策事業で復旧にあたることになっている。

野地区集落までの間で河川氾濫が起きている。ここは村の公共土木災

Q 防災訓練計画は

A 災害想定訓練の実施
に取り組む

今村議員

村長をはじめ、議会・行政・区長会・消防・住民の方々、また県の関係機関の要請を行い、大規模訓練することが今後の村としての減災にもつながる。大規模防災訓練の実施計画は。

村長

本村は平成24年の九州北部豪雨災害、昨年の熊本地震と死者を伴

う大災害を二度も経験している。

災害に強い村づくりをするためにも、有事の際に避難者の保護や情報収集また非常招集や避難所開設、災害対策本部の設置など様々な訓練を実施しスムーズな対応ができるよう早期の防災訓練計画策定に取り組んでいく。



防災訓練の様子